

平成 28 年度 地域包括支援センターの事業計画の概要

I 各地域包括支援センターから提出された事業計画について

地域包括支援センター設置運営法人は、平成27年度包括的支援事業を受託するに当たって、市が示した「長野市地域包括支援センター設置運営方針」に基づき、これまでの取組状況と反省点を踏まえた上で、地域の特性等も考慮した具体的な事業計画を作成しました。

本概要は、全てのセンターで運営方針に基づいた事業を実施しておりますが、運営方針や計画作成の留意点に記述されていないような各センターで工夫された取組、業務の具体的な取組内容等についての要旨をまとめたものです。

II 具体的な事業計画について

1 包括的支援事業

(1) 総合相談支援事業

ア 総合相談支援

【博愛の園】

- ・認知症相談について、センターの支援で対応できない状況と判断した場合は、「もの忘れ相談事業」につなぐ。
- ・連携の必要な場合には相談者から同意を得ることに留意
- ・住民自治協議会福祉懇談会と合わせて地区ネットワーク会議を開催

【ニチイケア高田】

- ・毎週土曜日を営業日として、若い世代が「気軽に早めに」相談できるよう垣根の低いセンターを目指す。地区内の商業施設などで相談の場をつくる。

イ 高齢者実態把握

【安茂里】

- ・自ら地域に出て高齢者の状況を見極め、認知症高齢者の早期発見、孤立や深刻な事態に発展する危険性を回避できるよう実態把握に努める。

(2) 権利擁護

ア 高齢者虐待に関する啓発活動

【博愛の園】

- ・介護者教室などで介護者が語れる環境を作る。
- ・施設職員に出前講座等で啓発を行い施設から相談できる環境を作る。

【ケアプラザわかほ】

- ・介護者（特に男性）が、過度な介護負担により孤立しないように地域の実情把握にも努める。

【富竹の里】

- ・これまでの広報ツールに加えDVDも活用しながら啓発を進める。

イ 高齢者虐待への対応（通報・連携・支援体制の構築）

【安茂里】

- ・地域の民生児童委員や関係者、介護サービス事業者等との連携により早期に状況を把握できる体制を整える。

【ケアプラザわかほ】

- ・虐待ケースの進捗状況について毎月の会議で定期的に経過や対応を検証し支援の方向性を決定する。

【吉田】

- ・成年後見支援センターや「まいさぼ長野市」等とも連携して擁護者も支援する。

ウ 成年後見制度の利用支援

【博愛の園】

- ・認知症高齢者の急増に伴い、金銭管理でのトラブルが多く見られることから、早い段階での制度利用に向けて、介護予防教室で啓発

エ 消費者被害の防止

【ニチイケア高田】

- ・広報誌で事例紹介。「地区で被害を防ぐ」を今年度の目標として若い世代の関心を育てたい。

【富竹の里】

- ・国民生活センター「新鮮見守り情報」、長野市消費生活センター「消費者・特殊詐欺被害情報提供」を活用し被害拡大防止に努める。

オ 職員の日常的なスキルアップ

(3) 介護予防ケアマネジメント

ア はつらつアップ高齢者へのケアマネジメント

【博愛の園】

- ・状態の悪化の見られるケースに関して、関係機関を召集し個別ケア会議を実施していく。

【豊野】

- ・新規に運動を希望する人に「新しい総合事業」に繋げることも視野に支援を行う。

イ アセスメント・モニタリングの実施及び評価

ウ 予防給付ケアマネジメントの支援

エ 新しい総合事業の介護予防ケアマネジメント

【富竹の里】

- ・サービス提供後はモニタリング等により計画の目標が達成された後は「地域住民による身近な集いの場」など、より自立に向けたステップへの支援を行う。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア ケアマネジャーへの支援

【博愛の園】

- ・毎月1回介護支援専門員連絡会を開催

【コスモス】

- ・介護支援専門員が1人だけの事業所もあるので、互いに話し合えるような研修会を開催する。

【星のさと】

- ・介護支援専門員研修会と共に毎月第二水曜日に「気づきの事例検討会」を開催し問題解決のスキルアップを図る。事例検討会の後、配食弁当の試食を兼ね昼食会で情報交換の場をつくる。

イ 包括的・継続的ケア体制の構築

【富竹の里】

- ・介護支援専門員の資質向上に向け、「新しい総合事業の理解」、「高齢者虐待防止・消費者被害防止」、「がん末期・ターミナルケア患者の退院支援連携・在宅医療連携」等をテーマに研修会、検討会を実施する。

(5) ケア会議の充実

ア 個別ケア会議

イ 地区ケア会議

ウ 地区ネットワーク会議

【豊野】

- ・地区住民自治協議会、同社会福祉部会、公民館、民生児童委員協議会、老人福祉センターと昨年度立ち上げた「豊野地区関係団体連絡協議会」をさらに拡充し高齢者の生活を支える関係づくりを進める。

エ 地域の社会資源の掘起こしと活用

オ 地域での見守り支援

(6) 在宅医療・介護連携の推進

【博愛の園】

- ・地域医療連携に向けて、MSW と介護支援専門員間のナレッジマネジメントの実施

【豊野】

- ・富竹の里と共催で開催してきた総合病院地域連携室、管内居宅介護支援事業所との会議を継続し、スムーズな退院支援に向けて課題を明確化し連携強化を図れるよう研修会の企画を行う。

【富竹の里】

- ・管内に本年度設置された「長野市在宅医療・介護連携推進センター」と事業実施に向けて意見、情報交換等の連携を図り顔の見える関係づくりを行う。

(7) 認知症高齢者支援

【博愛の園】

- ・住民自治協議会福祉部会との連携のもと、地域での学習会を開催して啓発活動を進める。
- ・認知症ケアパスを職員が理解し、ケアパスに沿った対応ができるようスキルアップを図る。

【ニチイケア高田】

- ・認知症支援に役に立ちたいと考える人の人材バンクをつくり、マンパワー活用のコミュニケーションをとる。

【星のさと】

- ・キャラバンメイトとして地域の公民館、会食会、老人クラブ、学校等からの依頼に積極的に参加し、認知症の人が生活しやすい地域づくりに努める。

【若槻ホーム】

- ・キャラバンメイト（劇団わかつき）の活動が継続できるように支援する。

【豊野】

- ・認知症カフェに毎回職員が出席してボランティア活動支援や相談支援を継続する。

【富竹の里、吉田】

- ・新たなオレンジカフェ設立を支援する。

(8) 生活支援体制整備

【コスモス】

- ・地域福祉ワーカーと連携し、福祉推進員の研修会等で介護予防の取組とお茶のみサロンの取組の促進を支援する。

2 その他

(1) 介護予防教室・介護者教室の開催

【コスモス】

- ・介護を受けている人も介護者と一緒に受け入れてカフェ形式で集いを開催する。

【若槻ホーム】

- ・住民自治協議会福祉健康部会と協力し、介護予防や介護知識の習得を目指す教室を開催する。

【長野松代総合病院】

- ・協力医療機関（長野松代総合病院）と連携して講師を確保し教室を開催する。

(2) 地域での介護予防活動支援

【安茂里】

- ・地区内の「わくわく運動塾」等の自主的な介護予防の取組を支援するなど、地域での介護予防活動の推進に努める。

【コスモス】

- ・地区福祉活動計画に基づき、地域の公民館ではつらつ倶楽部体験講座等を開催する。既に活動中のグループへの支援も継続

【ニチイケア高田】

- ・中央公民館での講座が充実されたことを活かし、地域での活動グループづくりを進める。

(3) 地域包括支援センター全体のスキルアップ

(4) 地域包括支援センターの周知活動

【ケアプラザわかほ】

- ・独自のチラシ、マグネットを高齢者が集まる場所で配布

【星のさと】

- ・地区懇談会、福祉バザー等の地区の集まりに積極的に参加し、顔見知りの関係となり周知の機会を持つ。

【豊野】

- ・公民館報にコラム欄を設け介護情報や健康増進情報を発信する。

(5) 新しい総合事業に関する周知活動

地区ケア会議ほか、地域包括支援センターが主催する会議等を活用して、地域住民、民生児童委員、ケアマネジャー等に対し、介護保険制度改正に伴い実施する、新しい総合事業に関する情報提供を行います。

(6) 個人情報の保護

【安茂里、吉田】

- ・法人の個人情報保護の方針に基づき管理を徹底する。

【星のさと】

- ・パソコンは施錠できるキャビネットに保管する。